

二酸化炭素消火設備の放出事故にご注意ください

令和3年4月15日、東京都新宿区内のマンション地下駐車場において、二酸化炭素を消火剤とする不活性ガス消火設備から二酸化炭素が放出され、死者4名、負傷者2名を出す事故が発生しました。これまでも、令和2年12月には愛知県名古屋市内、令和3年1月には東京都港区内で誤操作や誤作動が原因で発生しており、いずれも死傷者が出ています。

類似の事故発生を防止するために、以下の点に注意してください。

□工事・メンテナンス時

不活性ガス消火設備が設置された部分やその付近で工事やメンテナンス等を行う場合には、誤作動や誤放出を防ぐため、当該不活性ガス消火設備を熟知した消防設備士や消防設備点検資格者を立ち合わせるなど、安全を確保してください。また、工事を開始する際は消火剤が放出されないよう閉止弁を閉止する等の措置を講ずるとともに、関係者以外の者が出入りしないよう管理を徹底してください。

□建物利用者などへの周知

防火管理者、自衛消防隊員及び二酸化炭素消火設備が設置された部分の利用者などに、二酸化炭素の人体に対する危険性、設備の適正な取扱方法、作動の際の対応方法、避難方法などを周知してください。

□消火設備作動時の対応

万が一、二酸化炭素消火設備が誤放出された場合には、すぐに119番通報をして、放出場所に人を立ち入らせないでください。また、設備の設置・保守点検などを行った専門業者への連絡を行ってください。

二酸化炭素消火設備についてのQ&A

Q1 二酸化炭素消火設備とは、どのような設備ですか？

A 二酸化炭素消火設備は、火災になった場所に二酸化炭素を放出し、空気中の酸素濃度を低減させて窒息消火をするための消火設備です。

Q2 二酸化炭素消火設備は、どのような建物に設置されていますか？

A 二酸化炭素消火設備は消火に伴う汚損が少なく、電気絶縁性があることから、一定規模以上の通信機器室、電気室、ボイラー室、駐車場などに設置されています。

Q3 二酸化炭素消火設備は、どのようなときに作動しますか？

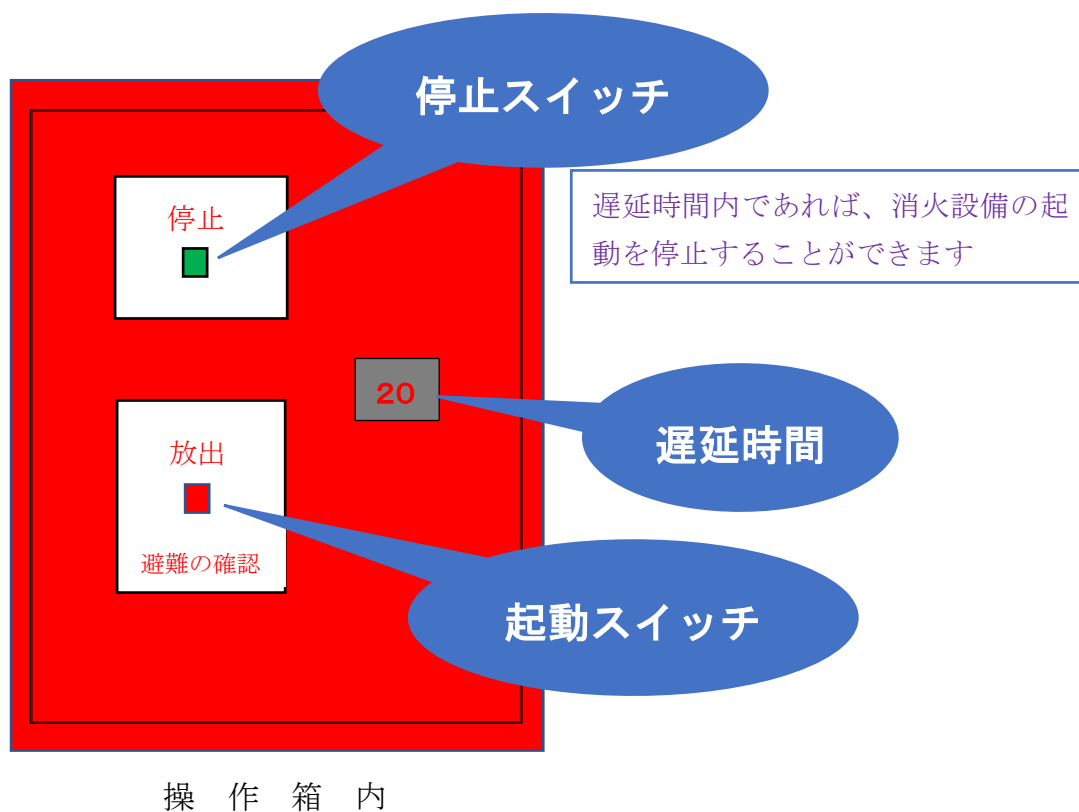
- A. 以下の2通りがあります。
1. 火災を発見した人が、手動起動装置（操作箱）の手動起動ボタンを押した場合
 2. 消火設備と連動した自動火災報知設備の感知器が作動した場合

Q4 二酸化炭素消火設備が作動した場合、どのような危険がありますか？

- A 二酸化炭素には毒性（麻醉性）があるため、高濃度の二酸化炭素を人が吸うと即時に意識を失い、酸素欠乏症に陥り死に至る危険性があります。
- なお、安全のため二酸化炭素が放出される前に、音声等により退避警報が発せられます。

Q5 二酸化炭素消火設備の誤放出の原因はなんですか？

- A 二酸化炭素消火設備の手動起動装置（操作箱）の手動起動ボタンを誤って押したために、誤放出してしまったという事故が多く発生しています。



問い合わせ先

北アルプス広域消防本部 総務課予防係

【電話】 0261-22-0166

【E-mail】 honbu@119kitaalps.jp